

北九州市立菊陵中学校
学校だより
2号
校長 上赤義人

学校教育目標
生徒一人一人の個性や伸長を図り、
徳・知・体の調和のとれた、
感謝の心をもつ自主した生徒の育成

感謝 ～多くの人に支えられている～

2・3年生には始業式での校内放送で、1年生には入学のしおりで、「感謝」の大切さについて伝えました。

様々な国際比較調査では、日本の中学生は、学校や家庭や地域での生活に満足している割合が他の国に比べて低く、自分自身に対して自信が持てないことが報告されています。比較対象となった国を見ると、教育条件も生活環境も日本ほど整っていない国が大半です。少なくとも日本は、日常生活を送るうえで危険や不安を感じることはない国です。(今は新型コロナウイルス感染拡大でそうとは言えない状況にあります…)しかし、不満を感じている生徒の割合は学年が進むにつれて高くなっていくのはなぜでしょうか。

私は、今の日本人が、毎日生命の危険を感じることなく、明日への不安を抱くこともなく生きられていることに対して感謝する心を忘れていないからではないかと考えています。例えば、食べ物を例にとってみましょう。農林水産省の統計によれば、日本のカロリーベースの食料自給率は39%(平成)です。私たちが毎日口にしている食べ物の約6割が海外に依存しています。私たちの住む日本が先進国だといっても、資源の多くは海外からの輸入に頼っています。つまり、私たちの生活は、世界中の人々によって支えられているのです。

皆さんが、毎日、安心して学校生活を送れるのも、家族の支えはもちろんのこと、気付かないところで、皆さんのために休むことなく努力している人々によって支えられているのです。今、自分が置かれている状況に不満をもつ前に、家族をはじめとして、一度もあつたことのない人も含め、あなたの生活を支えてくれている人々に感謝することから始めてみましょう。そうすれば、自分が今、ここにこうして生きていることに自信がもてるようになるはずです。

着任された先生方 よろしくおねがいします。

個人情報保護のため、情報を一部削除しています。

保護者の方々へ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、始業式・入学手続等が例年とは異なる状況になりましたが、無事に実施することができました。

保護者の方々をはじめ、多くの方々のご理解・ご協力のおかげです。ありがとうございます。今後とも、よろしく願いたします。

